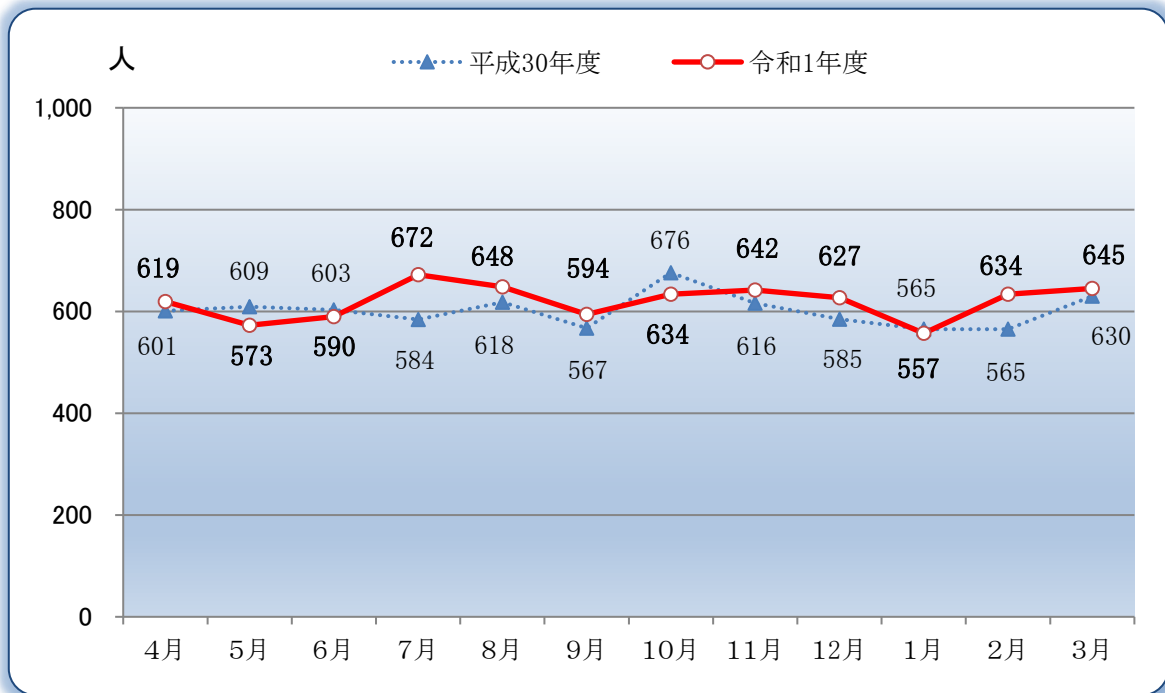


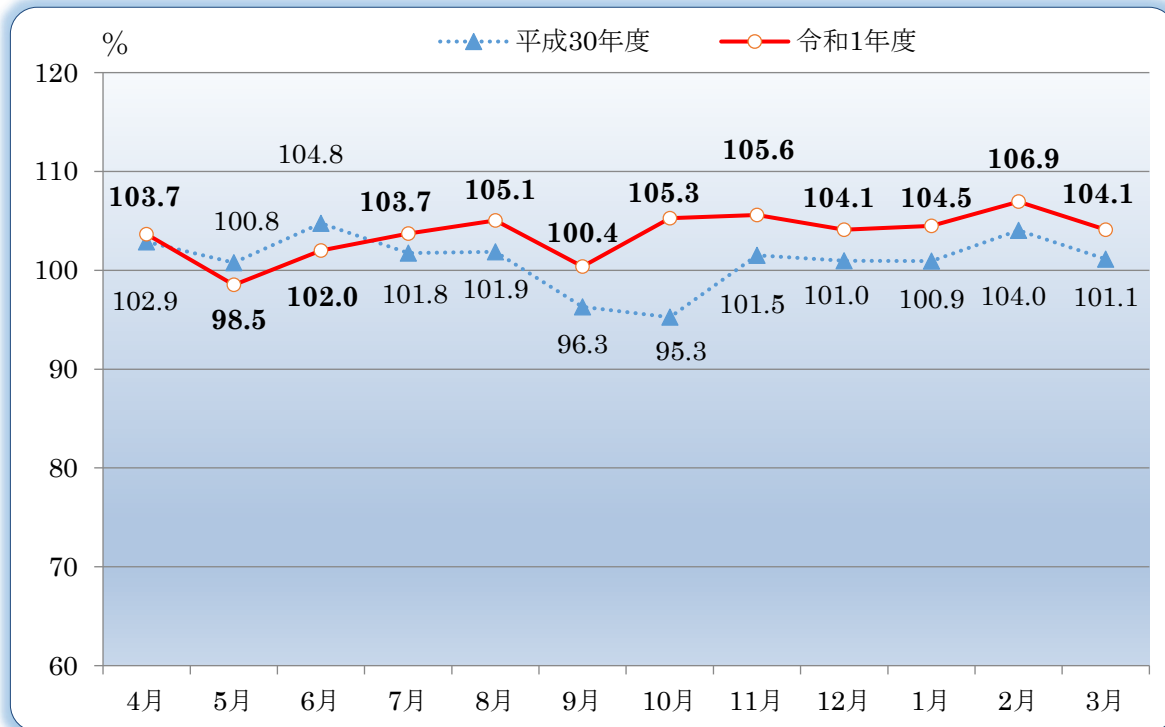
## I 病院全体に関する指標

### ・月別入院患者数



月別の入院患者数の推移を年間で表した指標です

### ・病床稼働率

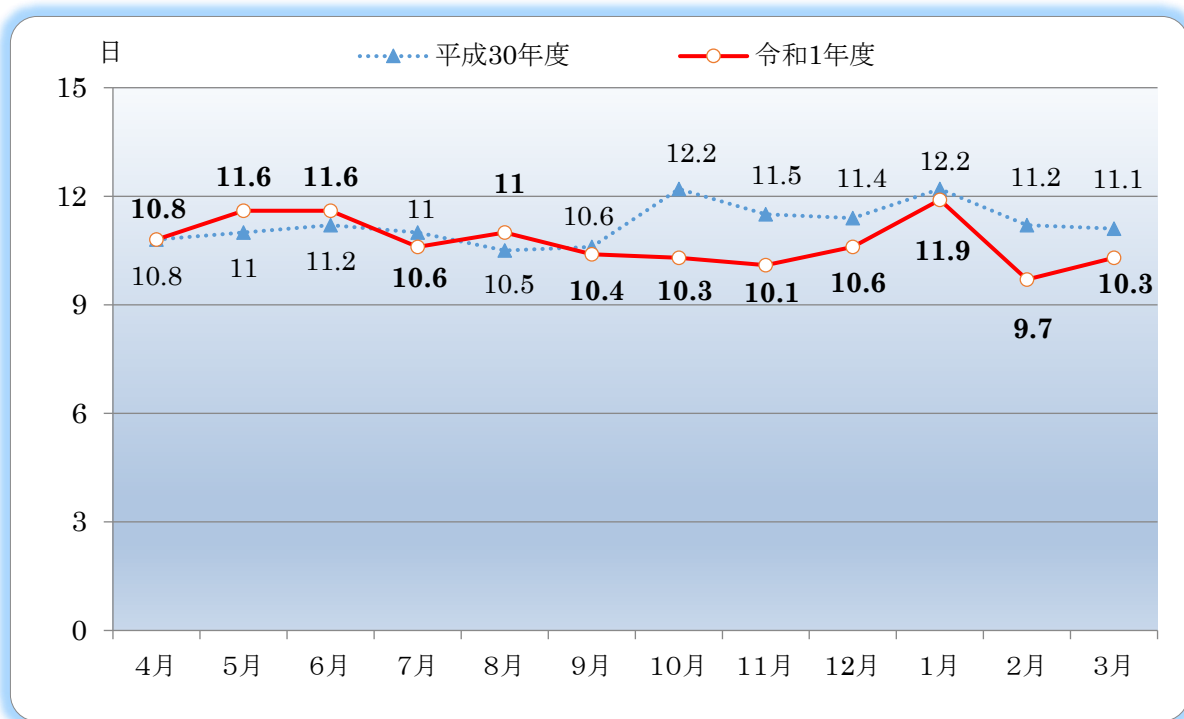


ベッドの稼働状況を示した指標です

病床稼働率が高いほどベッドを効率的に運用していることを示しています

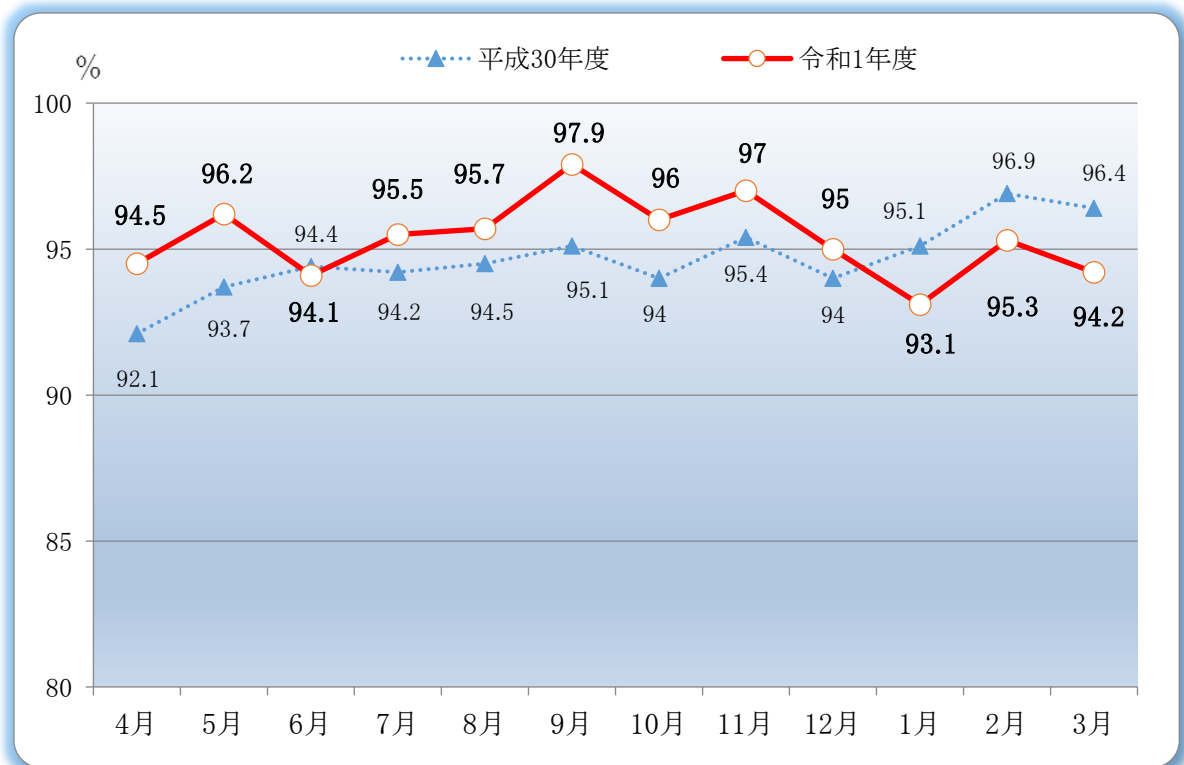
病院の経営管理状態を示す指標になっています

• 平均在院日数



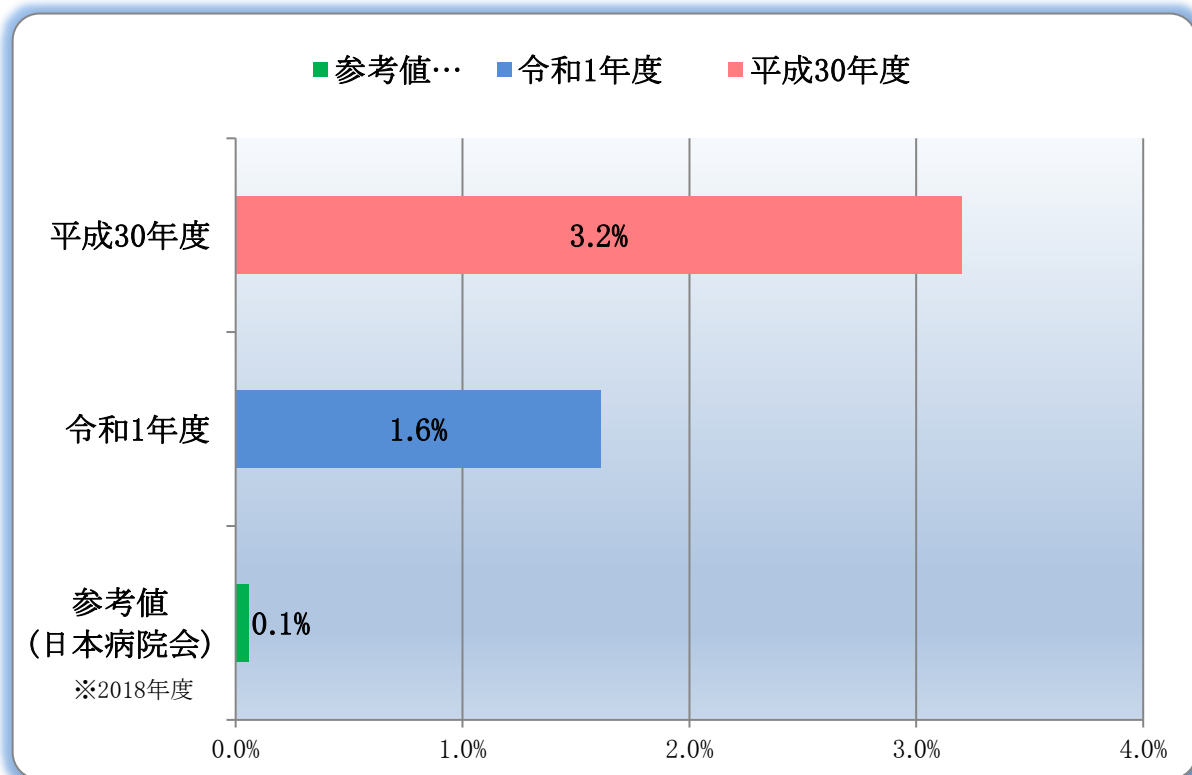
病院全体で1人あたりの患者が平均何日間入院しているかを示した指標です

• 在宅復帰率



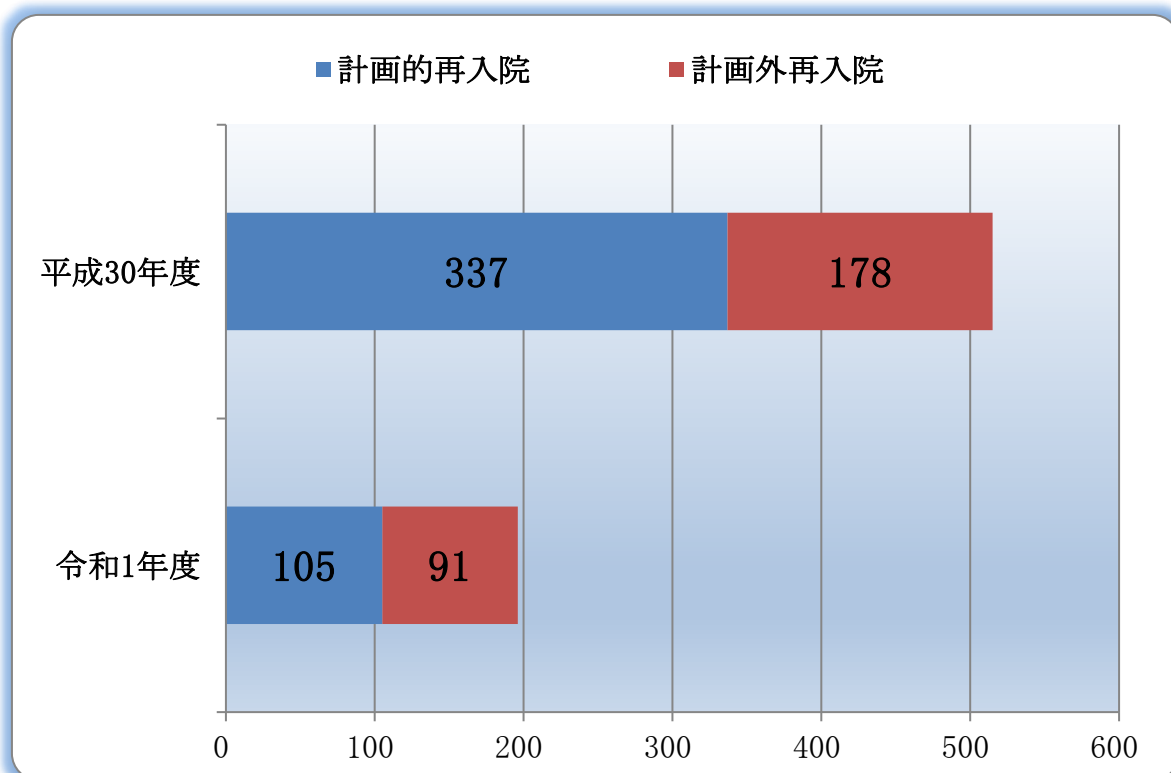
当院から自宅・居宅系介護施設に退院した患者の割合を示しています

• 褥瘡推定発生率



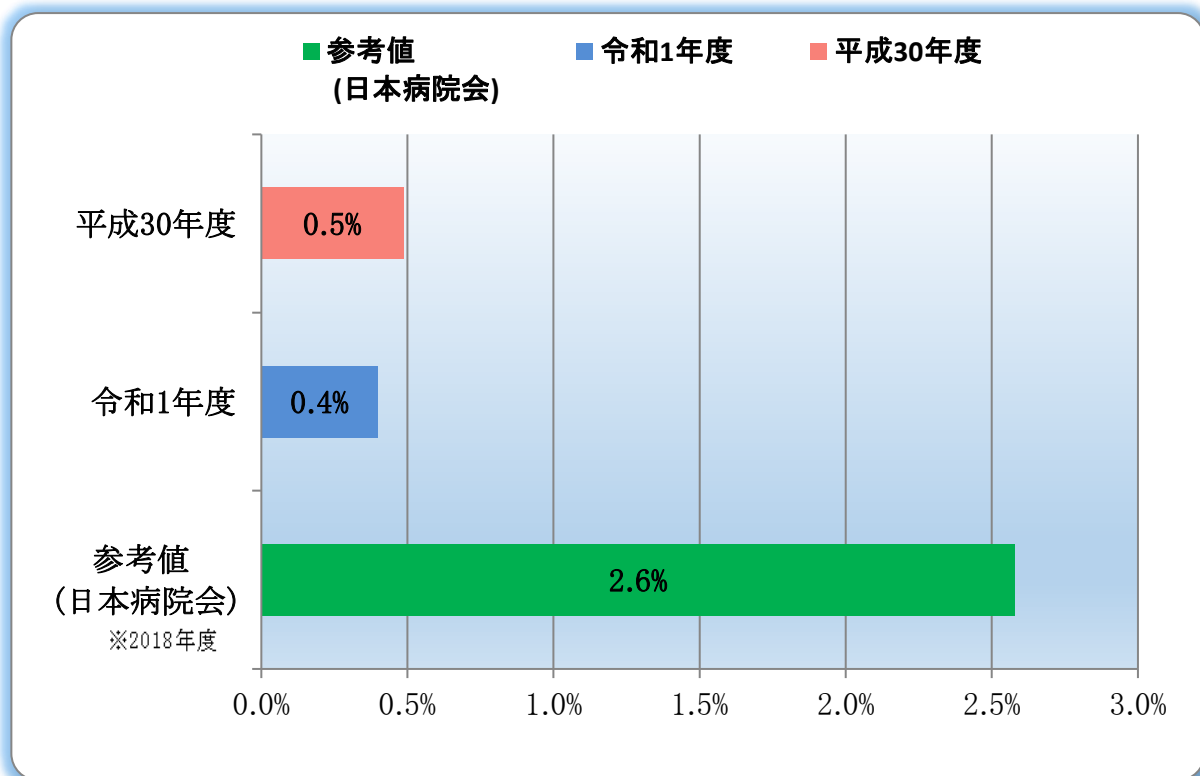
入院後新たに発生した褥瘡の発生率を表示しています  
 褥瘡発生率は看護ケアの質評価の重要な指標とされています

• 退院後6週間以内の再入院件数



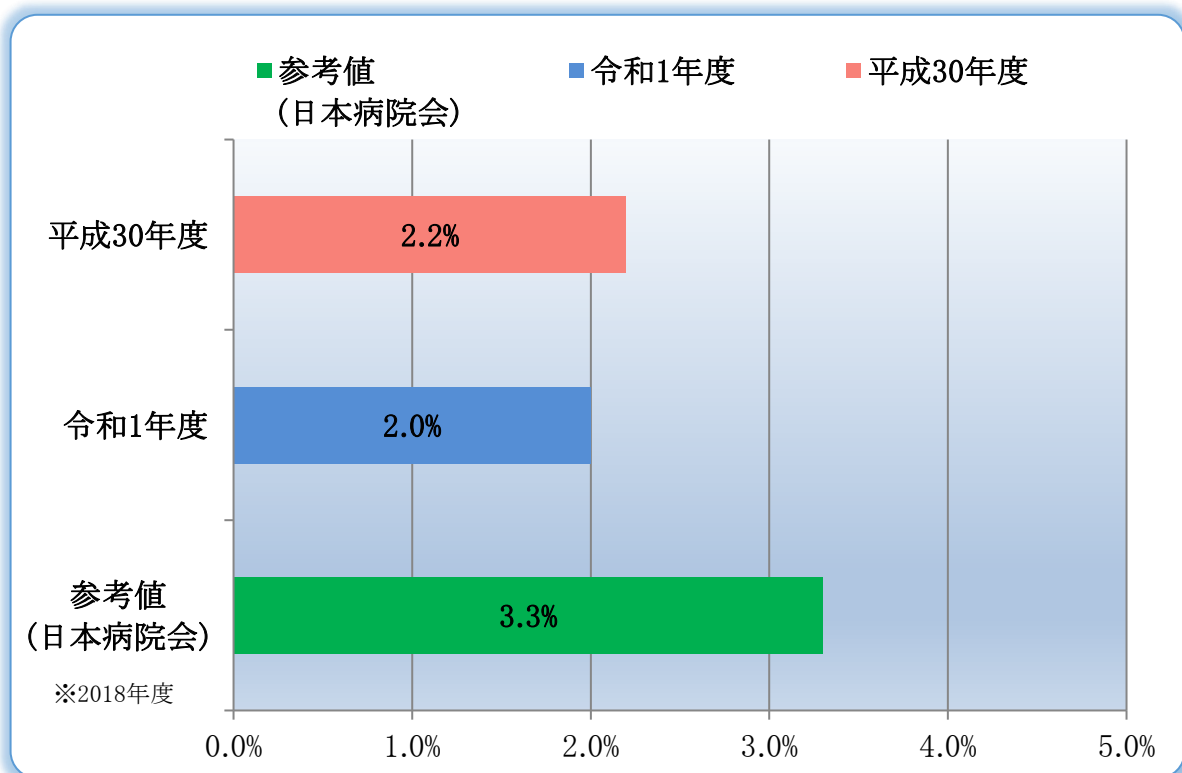
入院患者が退院6週間以内に予定・予定外に再入院された件数を表した指標です

• 退院後6週間以内の救急医療入院率



退院後6週間以内に重篤な状態で予定外の再入院をした患者の割合です  
参考値よりも低く、入院中に適切な治療を提供していることがうかがえます

• 死亡退院患者割合



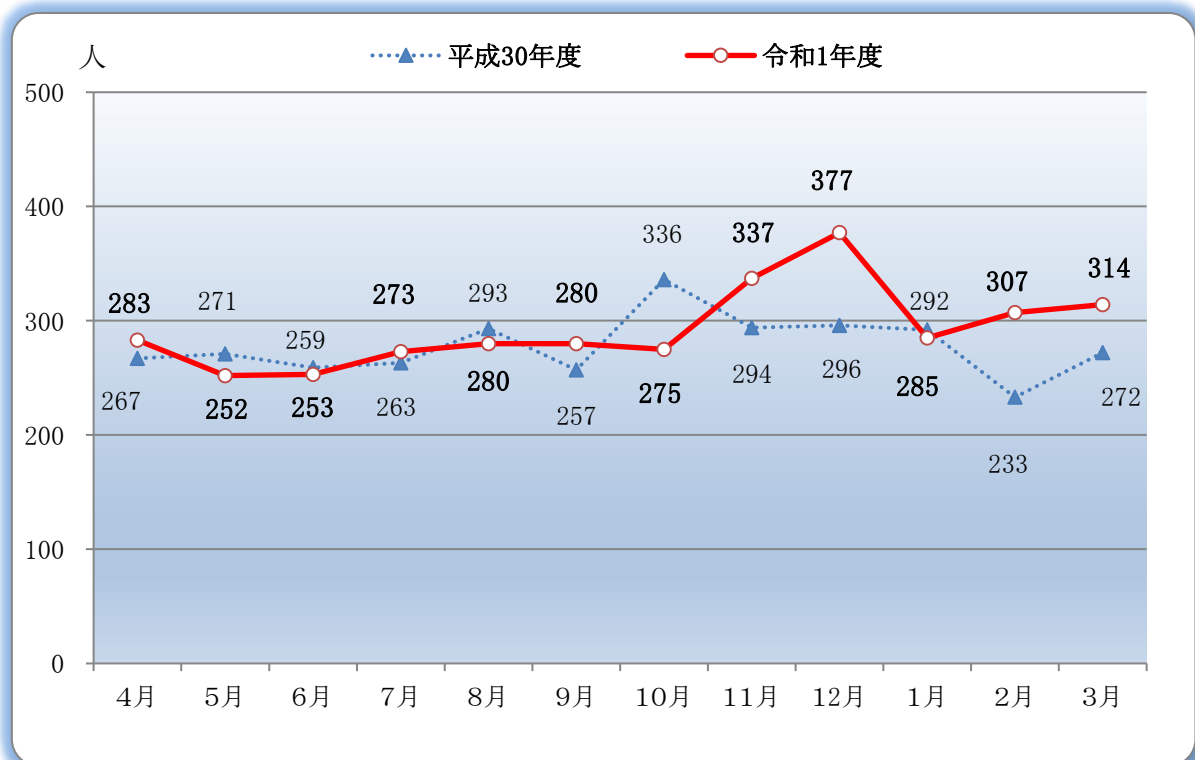
退院患者のうち死亡退院となった患者の割合を示した指標です。昨年より若干の減少がみられます

## ・外来患者総合計



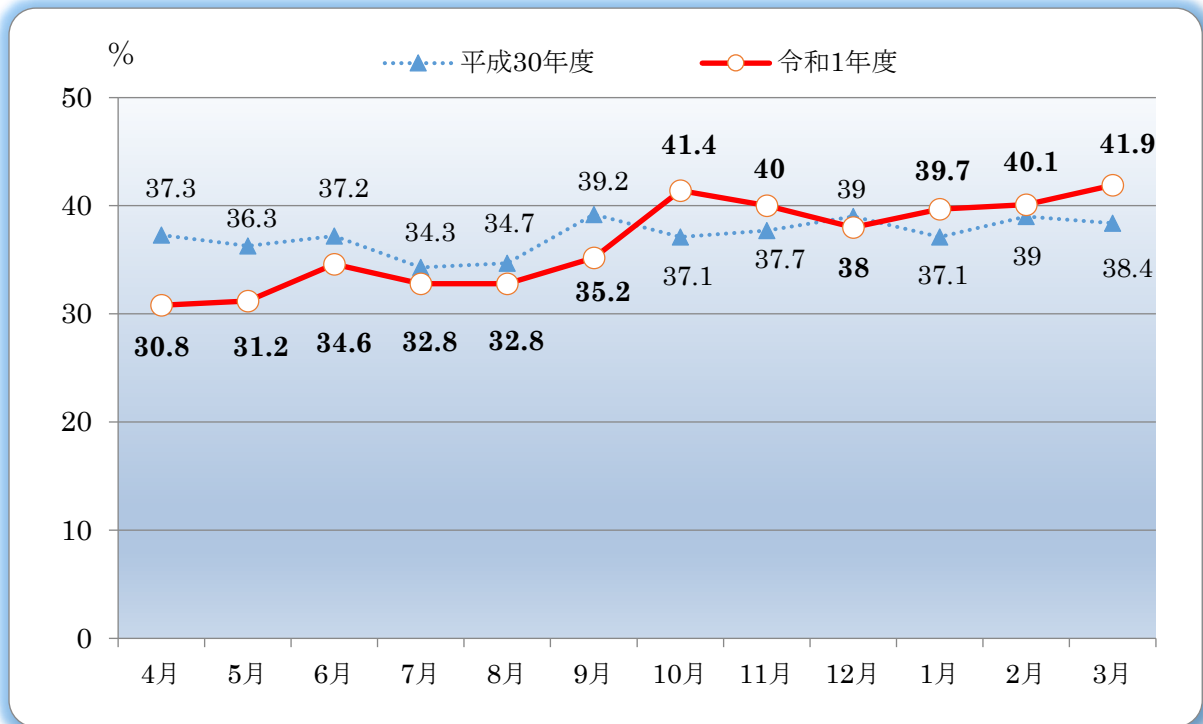
外来患者の総合計を示した指標です

## ・救急車受入件数



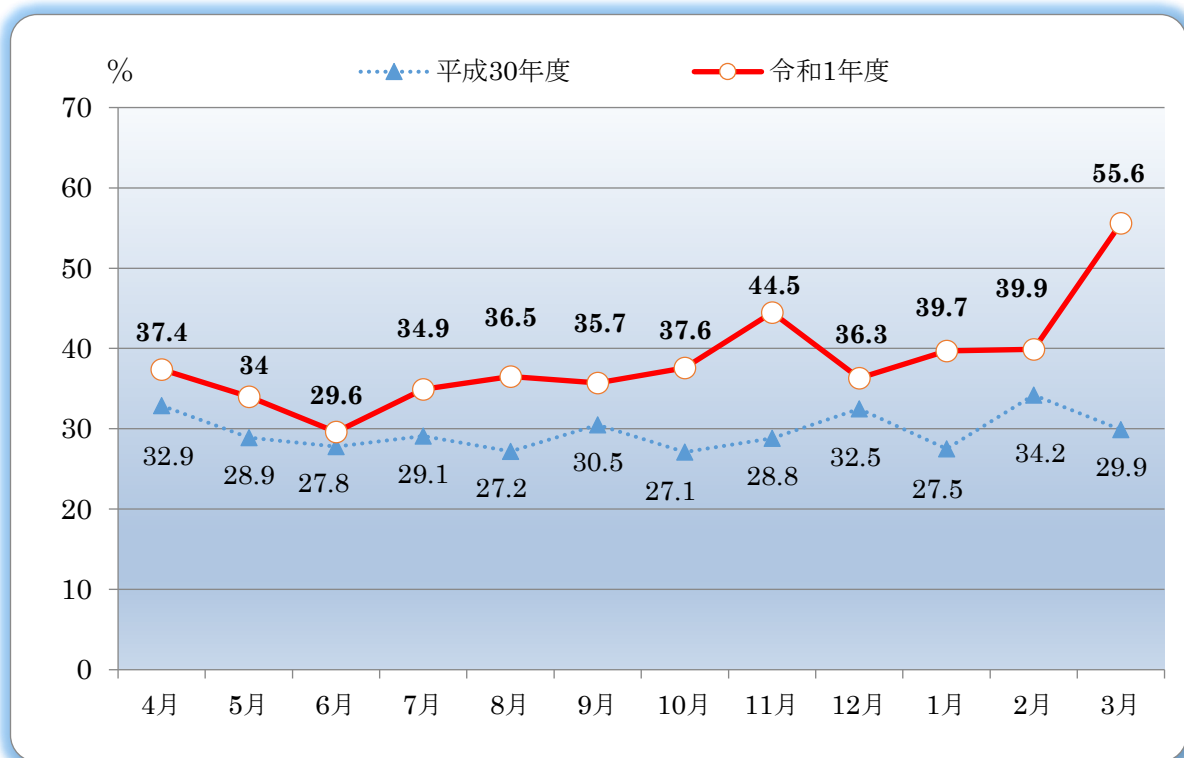
救急車の受け入れを行った件数を示した指標です

## ・紹介率



初診患者のうち他の医療機関から診療情報提供書を持参して受診した患者の割合を示した指標です

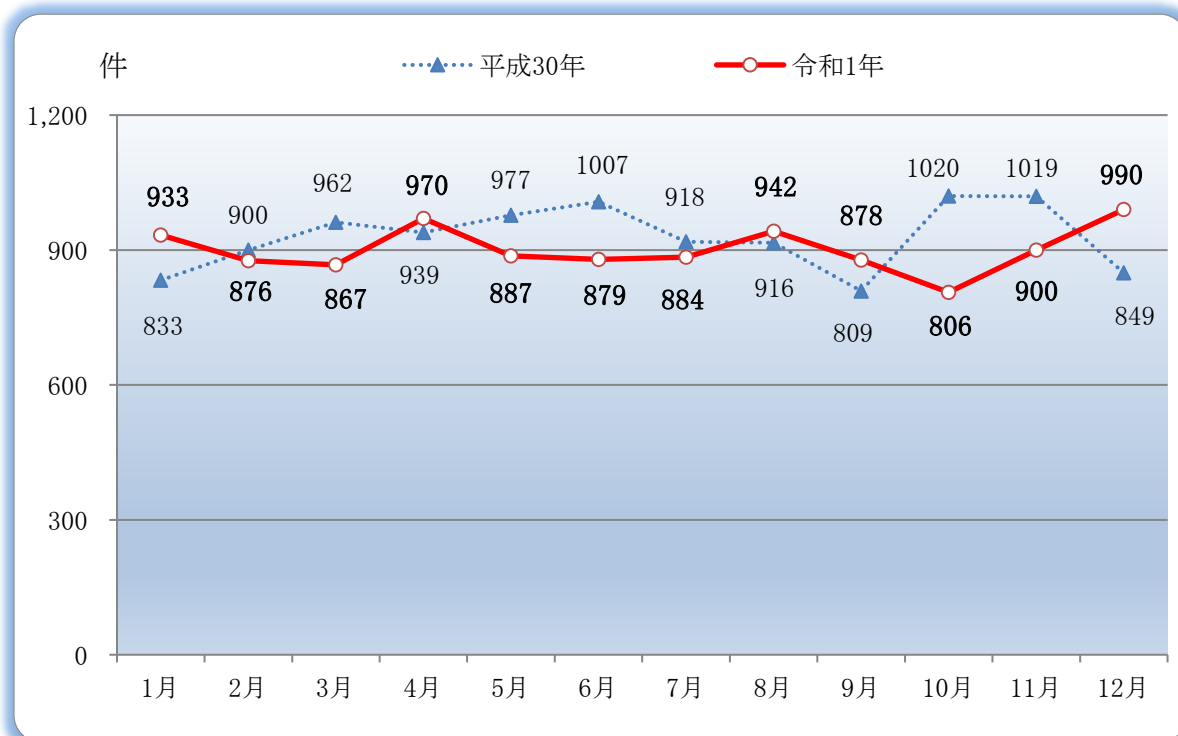
## ・逆紹介率



初診患者に対して、他の医療機関へ紹介を目的に診療情報提供書を交付した患者の割合を示した指標です

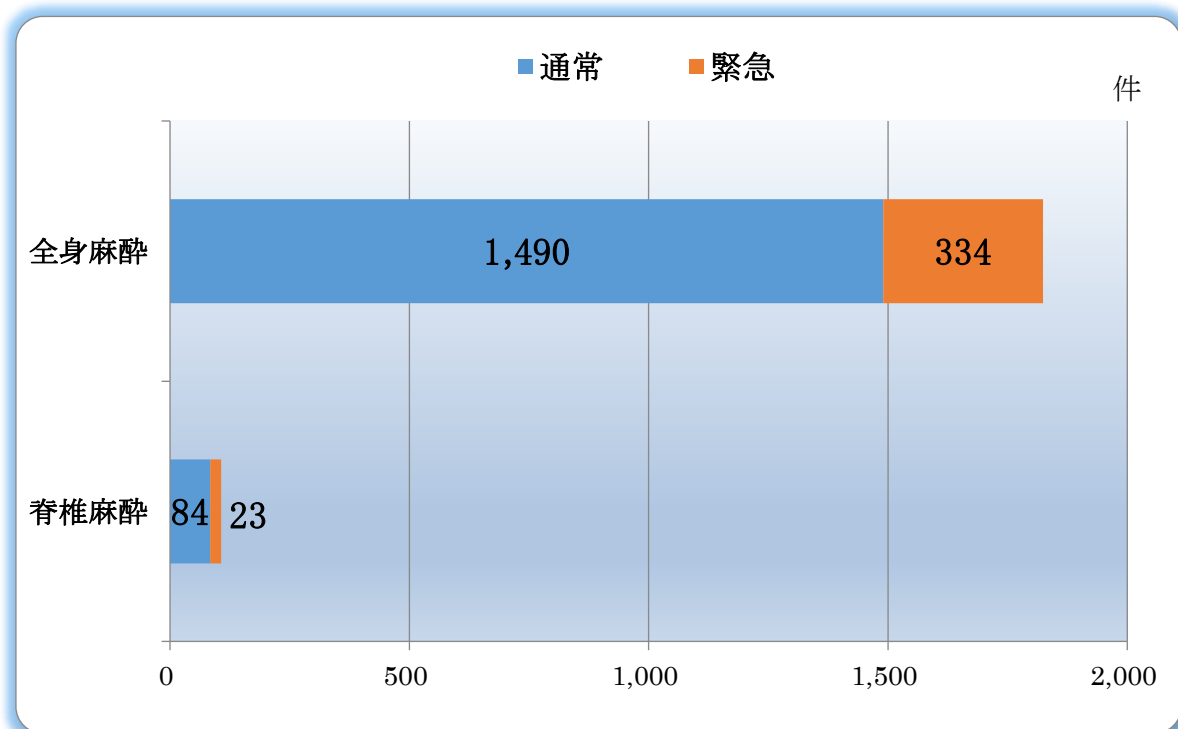
## Ⅱ 診療プロセスに関する指標

### ・月別手術件数



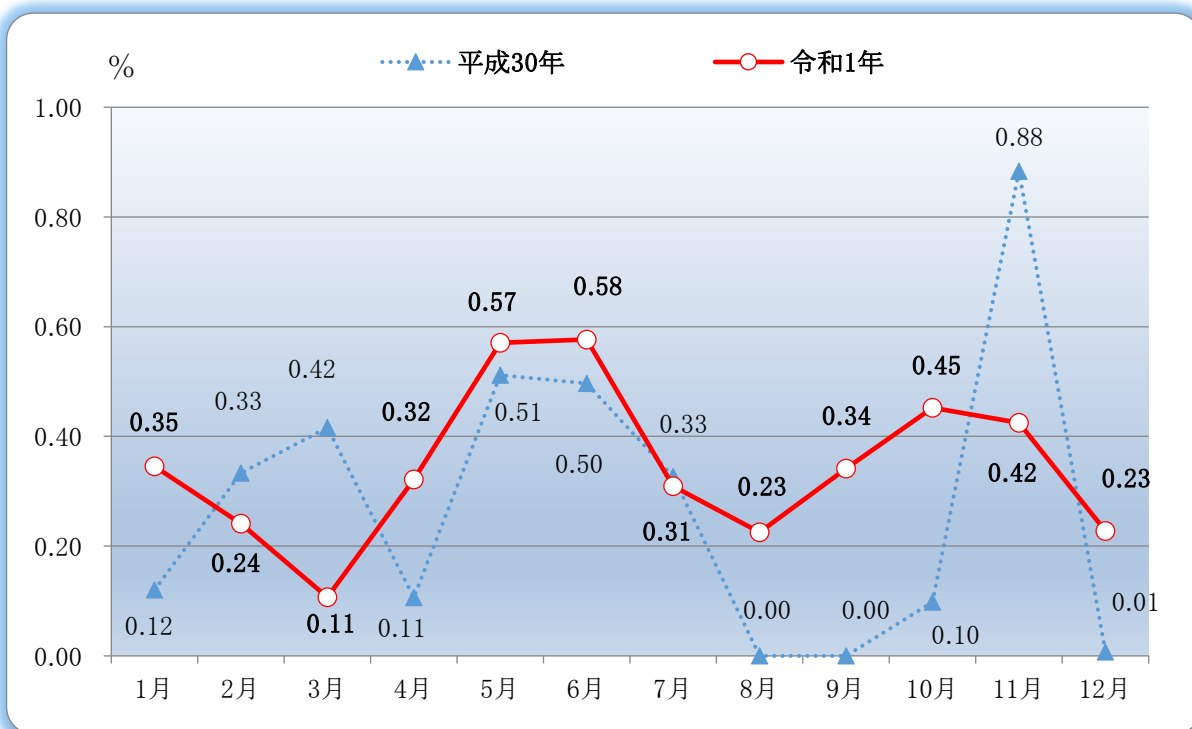
1ヶ月間に実施した手術件数の推移を年毎に表示しています

### ・麻酔件数



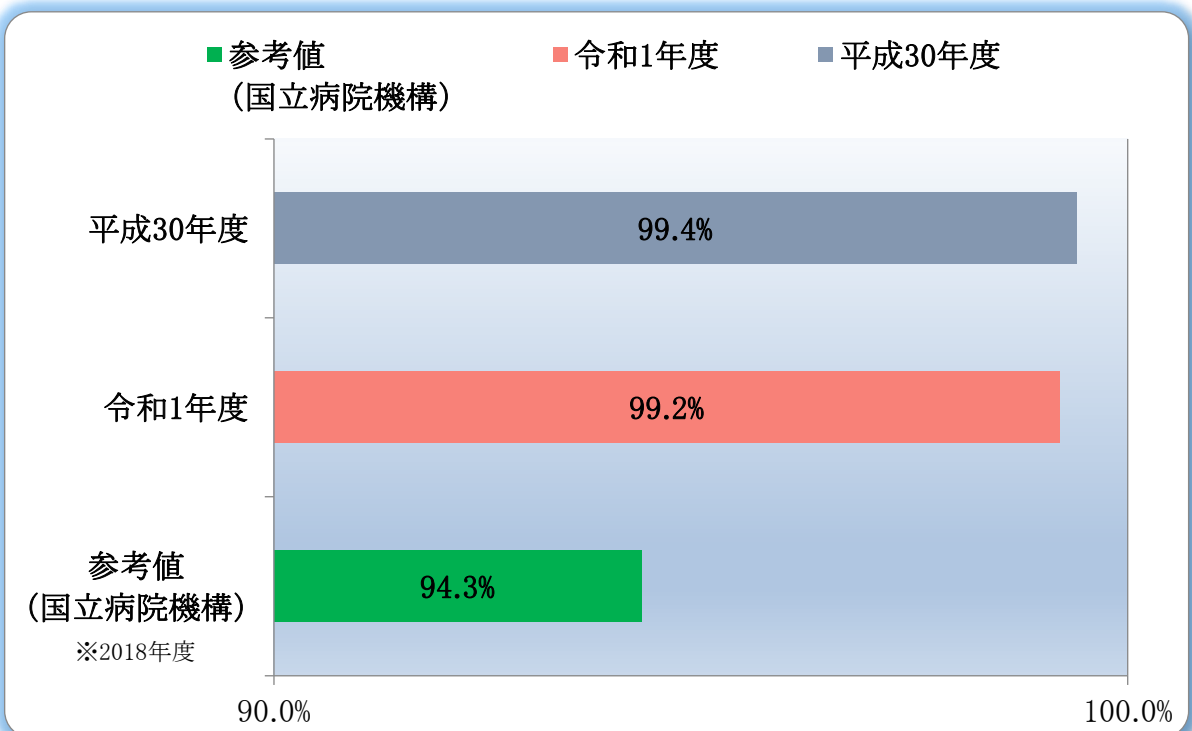
令和元年に実施した全身麻酔、脊椎麻酔の実施件数を通常（予定）・緊急別に表示しています

・24時間以内の再手術実施率



入院手術患者の術後24時間以内再手術割合を年別に表示しています

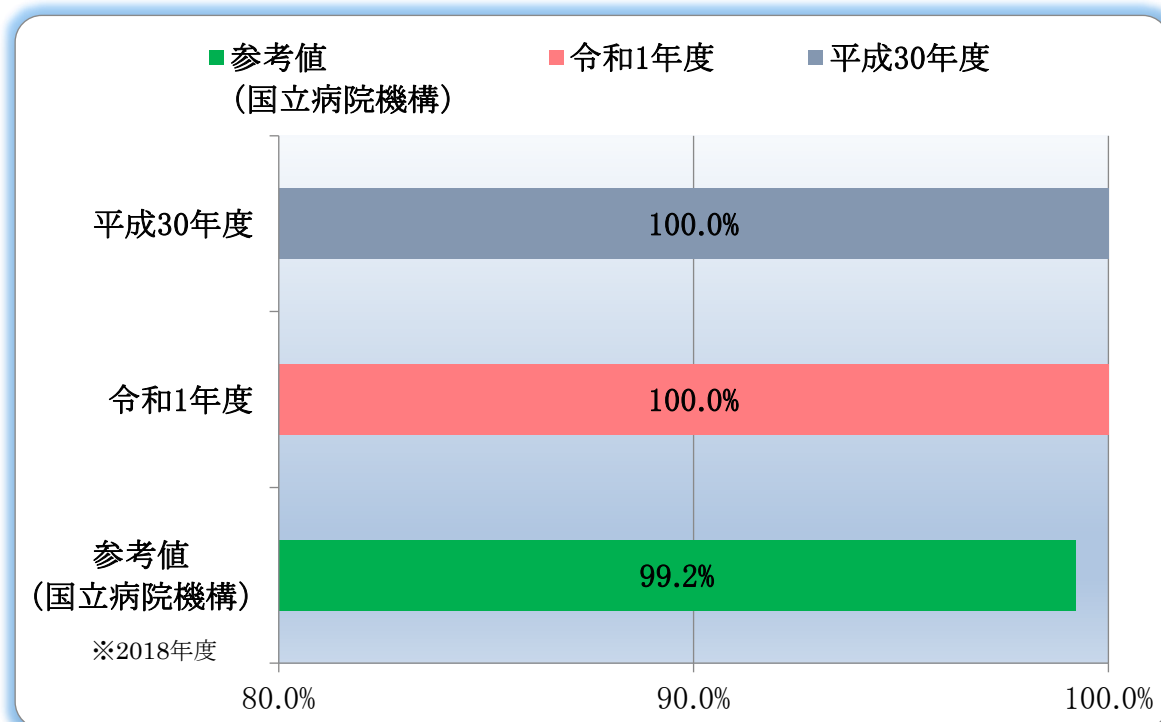
・急性脳梗塞患者に対する早期リハビリテーション開始率



廃用症候群や合併症の予防・改善、早期ADL向上と社会復帰を目標に、発症後早期から積極的なリハビリテーションの実施が勧められており、高い実施率が維持されています

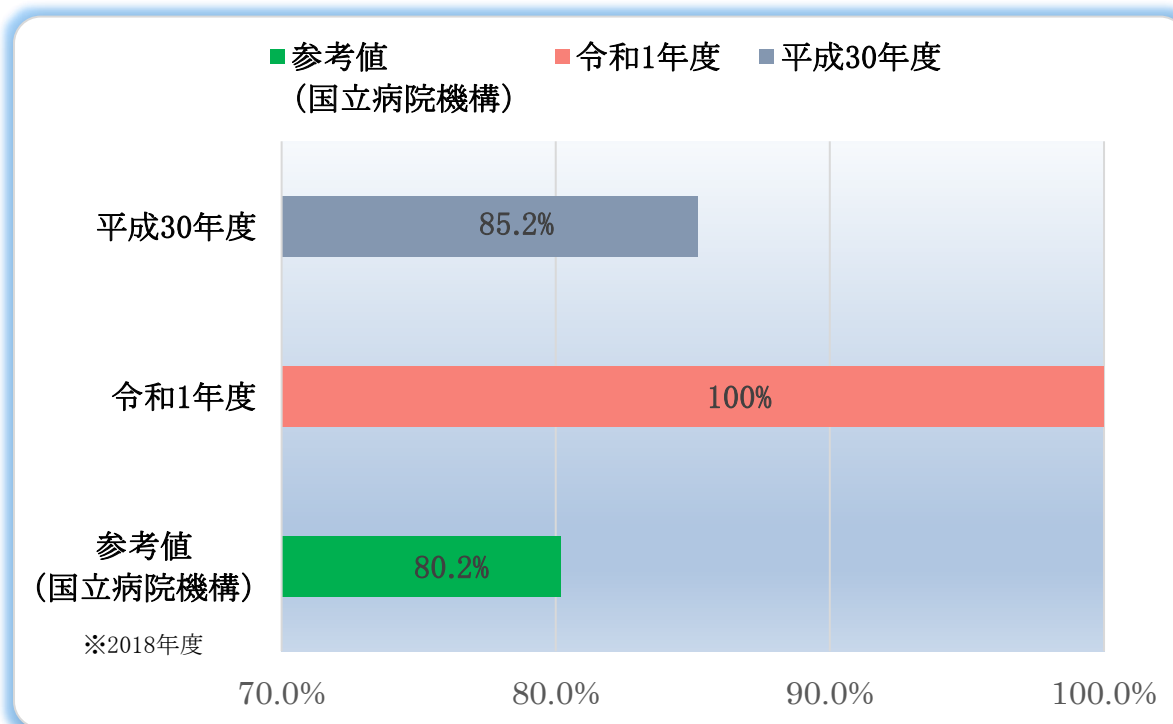


• 人工膝関節全置換術後の早期リハビリテーション開始率



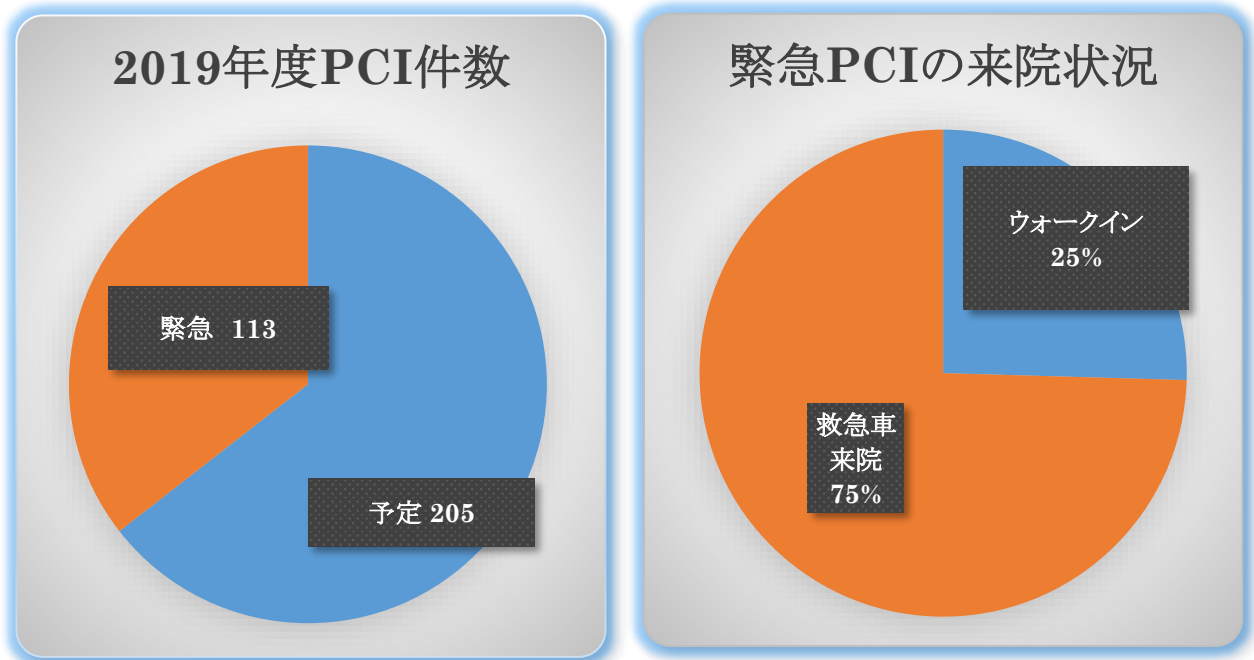
廃用症候群や合併症の予防・改善、早期ADL向上と社会復帰を目標に、発症後早期から積極的なリハビリテーションの実施が勧められており、確実な実施率が維持されています

• 破裂脳動脈瘤患者に対する開頭による外科治療あるいは血管内治療の実施率



くも膜下出血の主原因は脳動脈破裂によるものです。破裂脳動脈瘤を保存的に治療した場合は再出血のリスクがある為予防は極めて重要です。そのため、重症で改善が期待できない場合を除き予防的処置として開頭による外科治療あるいは開頭を要しない血管内治療を行うことが求められます

• PCI実施状況



door to balloon (分)

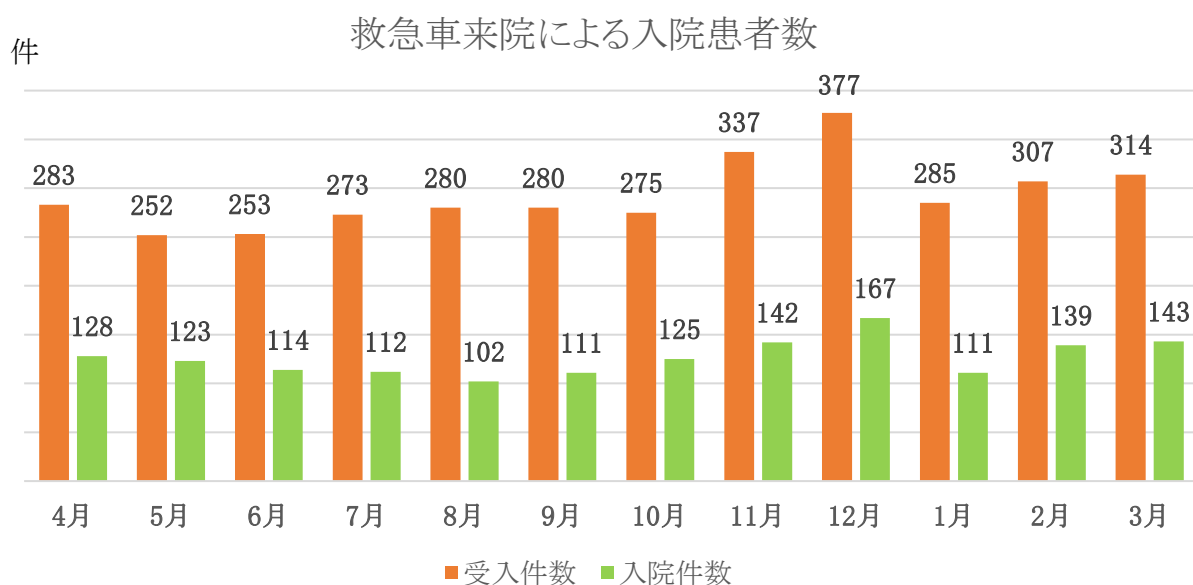
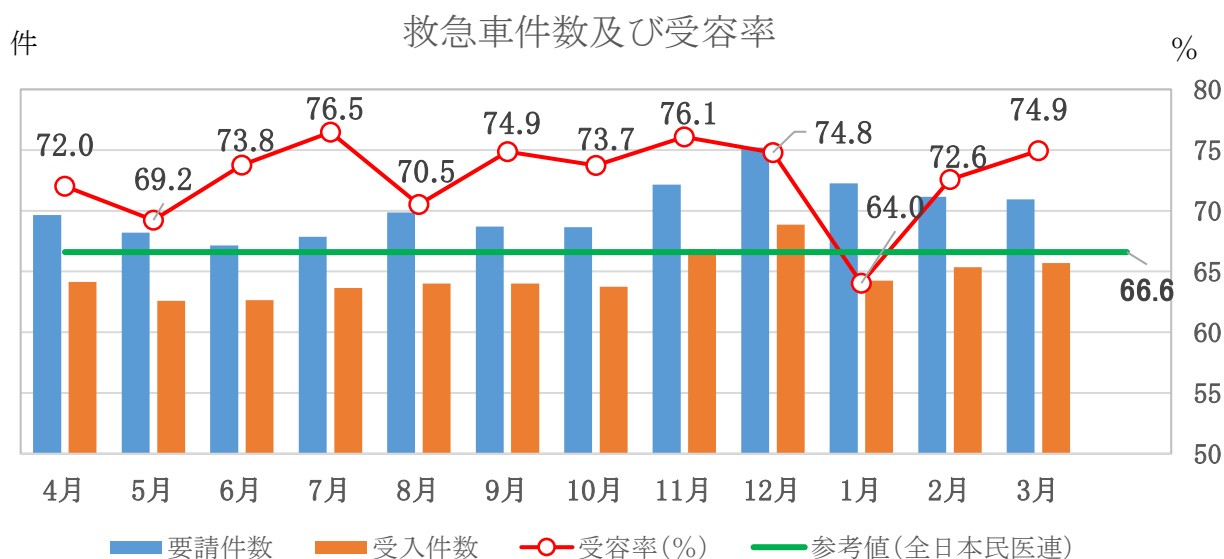
最短 36

平均 110

急性心筋梗塞症（急性冠症候群を含む）は致命的にもなり得る緊急性のある疾患です  
アメリカ心臓病学会のガイドラインにおいても病院到着からバルーン拡張までに  
要する時間（Door to Balloon time）は90分以内を推奨しています

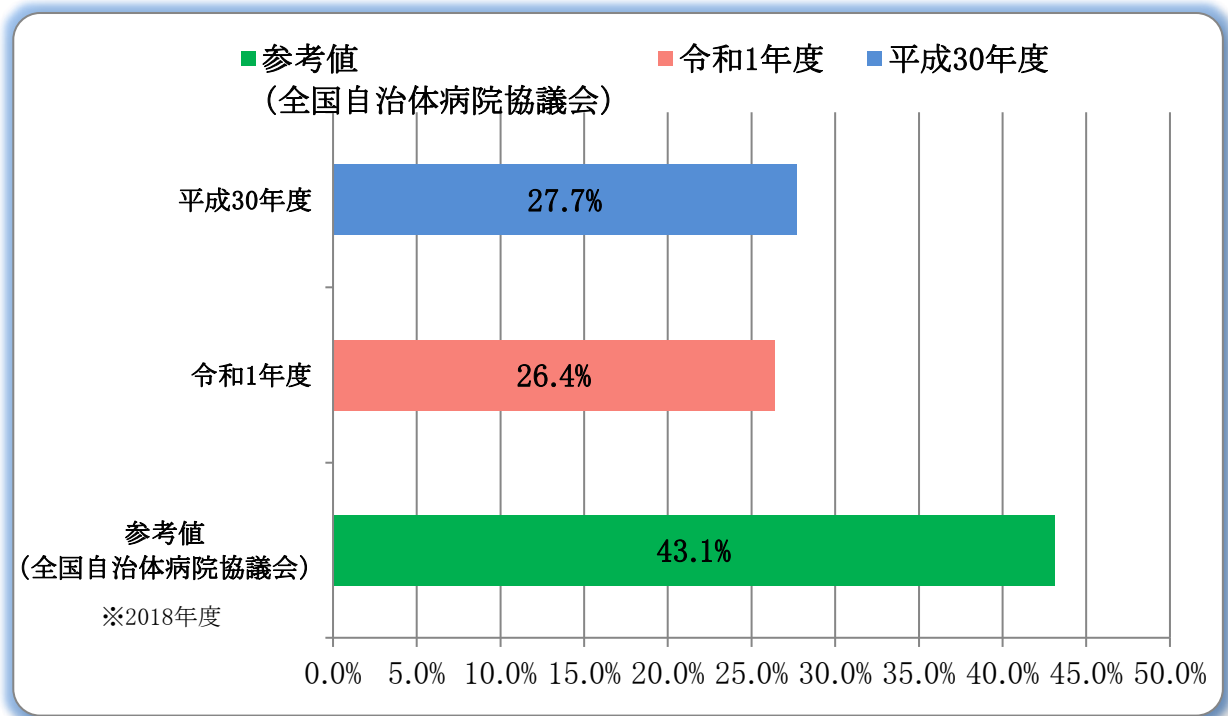
## ・救急搬送患者受容状況

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要請件数	393	364	343	357	397	374	373	443	504	445	423	419	4,835
受入件数	283	252	253	273	280	280	275	337	377	285	307	314	3,516
受容率 (%)	72.0	69.2	73.8	76.5	70.5	74.9	73.7	76.1	74.8	64.0	72.6	74.9	72.7
入院件数	128	123	114	112	102	111	125	142	167	111	139	143	1,517
入院率 (%)	45.2	48.8	45.1	41.0	36.4	39.6	45.5	42.1	44.3	38.9	45.3	45.5	43.1



救急搬送件数が年間3,500件以上の二次救急病院である当院は、搬送要請件数の平均73%を受容、また、内訳として平均43%が入院加療となっています

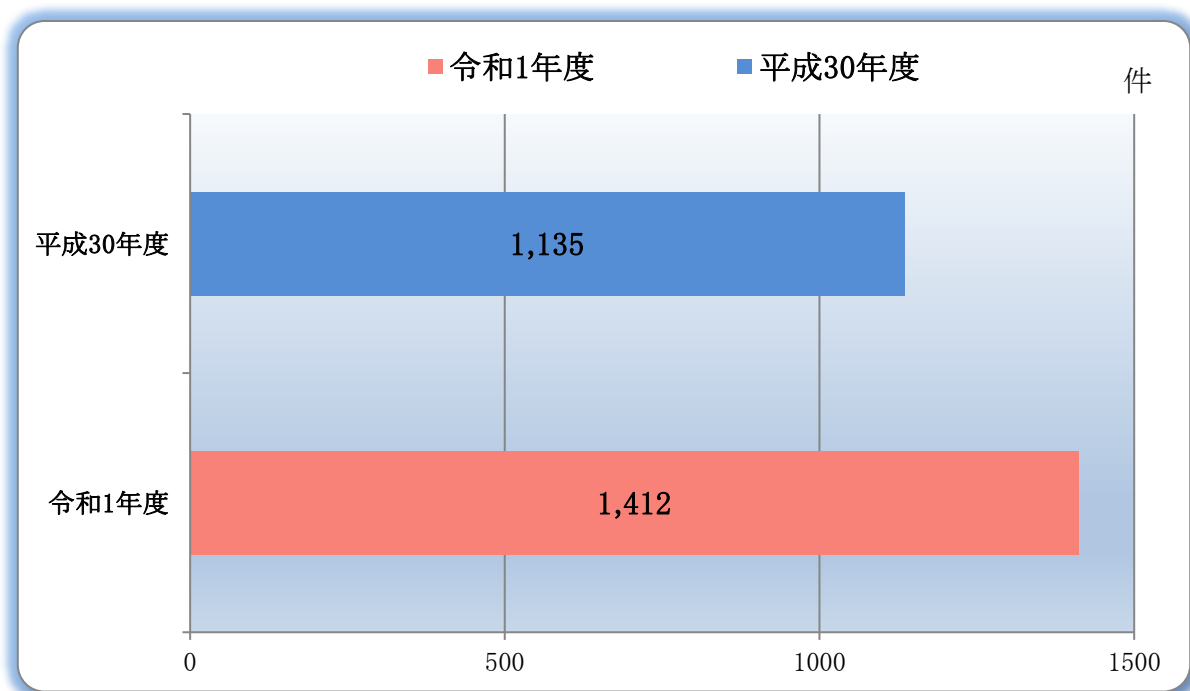
## ・クリティカルパス適応率



30%以上の適応率を目標として新規パスの作成などに取り組んでいます

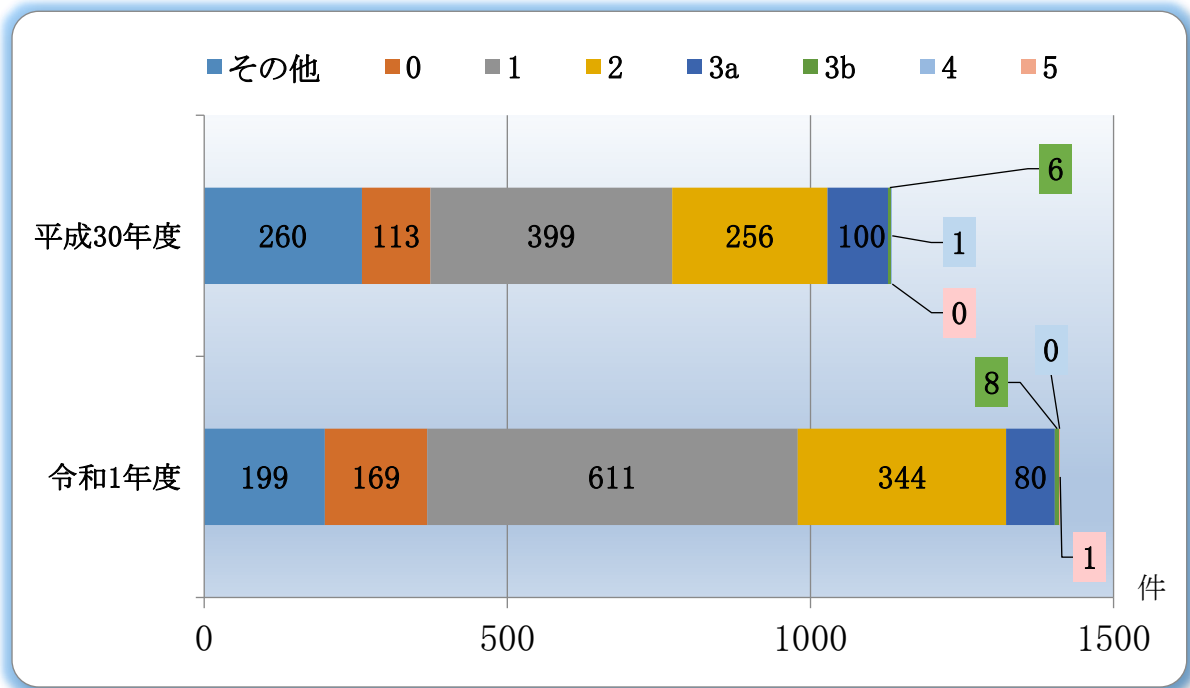
### Ⅲ 医療安全に関する指標

#### ・インシデント総件数



重大な事故につながる医療現場でのインシデント（ヒヤリ・ハット）報告は情報共有を図り医療事故防止に努めることに意義があるため、危機管理に関する高まっている状況が報告数増加にもつながっていると思われます  
報告を怠ることを恐れず、質のよいレポート作成に努めることが非常に重要です

## ・インシデント レベル別件数

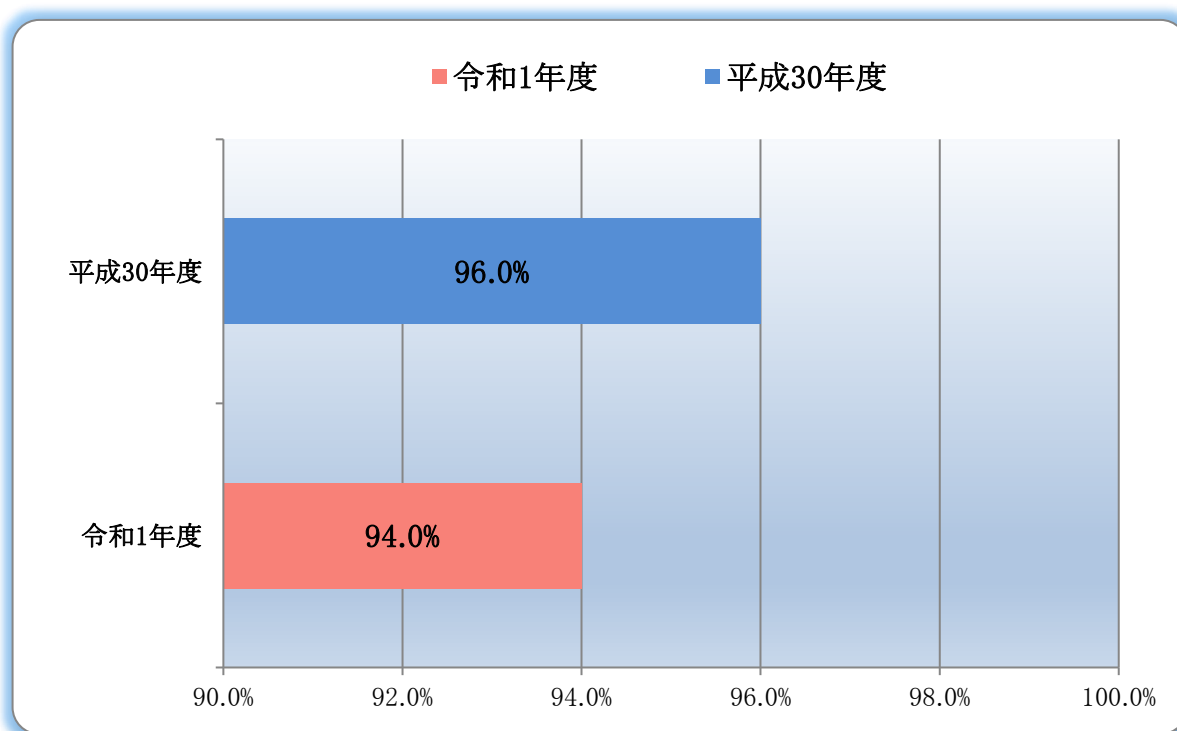


影響度	内容
レベル0	誤った行為が発生したが、患者には実施されなかった
レベル1	誤った行為を患者に実施したが、患者に影響は及ぼさなかった
レベル2	行った医療または管理により、患者に影響を与えた
レベル3a	行った医療または管理により、本来必要でなかった簡単な治療や処置が必要になった
レベル3b	行った医療または管理により、本来必要でなかった治療や処置が必要になった
レベル4	行った医療または管理により、永続的な障害が発生した
レベル5	行った医療または管理が原因で患者が亡くなった

医療行為や管理面で、間違いを事前に気づいたり、誤った行為があっても患者にほとんど害が及ばなかった事例で、一般的に「ヒヤリ・ハット」と言われている事例を含みます

## IV 予防医学に関する指標

### ・インフルエンザ予防接種の職員接種率



病院職員からの患者及び職員間の感染を防止するために、職員のインフルエンザワクチン接種が推奨されています  
ワクチンは体質的な要因などで医師からの接種の許可が出ない場合もありますが、院内感染防止対策に積極的に取り組んでいると評価できます